

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2001-137247 (P2001-137247A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 22 日 (2001.5.22)
 【出願番号】特願 平 11-328169
 【国際特許分類】

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/01 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 10/00 E

G 0 1 N 21/01 A

G 0 1 N 21/17 6 2 5

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 31 日 (2006.10.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源から光ファイバで誘導した複数波長の光を生体に照射する誘導照射手段と、前記生体内を通過した光を検出する検出手段と、前記検出した通過光から前記被検体の生体通過光強度画像を生成する画像生成手段とを有する生体光計測装置において、

前記光ファイバ及び前記誘導照射手段並びに前記検出手段を検査するためのファントムを備え、前記ファントムは、前記誘導照射手段及び前記検出手段を挿入する挿入口と、該挿入された前記誘導照射手段から照射される前記光を散乱させる散乱部材とを有していることを特徴とする生体光計測装置。

【請求項 2】

前記散乱部材は、前記生体に近い散乱係数を有することを特徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置。

【請求項 3】

前記ファントムは、前記散乱部材の背面に前記誘導照射手段で照射される前記光の照射光量を低減させる光吸収体を有することを特徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

光源から光ファイバで誘導した複数波長の光を生体に照射する誘導照射手段と、前記生体内を通過した光を検出する検出手段と、前記検出した通過光から前記被検体の生体通過光強度画像を生成する画像生成手段とを有する生体光計測装置において、前記光ファイバ及び前記誘導照射手段並びに前記検出手段を検査するためのファントムを備え、前記ファ

ントムは、前記誘導照射手段及び前記検出手段を挿入する挿入口と、該挿入された前記誘導照射手段から照射される前記光を散乱させる散乱部材とを有している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記散乱部材は、前記生体に近い散乱係数を有する。さらに前記ファントムは、前記散乱部材の背面に前記誘導照射手段で照射される前記光の照射光量を低減させる光吸収体を有する。